



おしらせ（12月）

○みかんフェスティバル 12月11日（年中児）

山口評議員さん宅でみかんもぎをさせていただいた後「みかんを使って年少長さんにごちそうしたい」という意見が出ました。学年で話し合った結果「みかんジュースとみかんゼリーを作ってお店屋さんみたいに作る」ということでまとまり準備を進めていきました。看板やメニュー表作り・テーブルの飾りつけ・ゴミ箱まで用意しいよいよ当日です。みかんをむいてミキサーに入れたり、寒天で固めたりして、出来上がるとうれしそうに年少長さん呼びに行きました。「レストランみたい」「お店のよりおいしい」などと言われ大喜びでした。

以前行われた年長組の柿パーティに刺激を受け「自分達も年長さんみたいにやってみたい」という憧れの気持ちが高まったようです。さらに運動会を経験したことで、1つの目的に向かってみんなで意見を出し合いながら、決断し協力して進めていくという力が確実に育っていることを実感しました。

○保育参観発表会 12月13日（ほし組）「さるかに合戦」 12月15日（にじ組）「魔法の自動販売機」

大好きな物語や絵本をベースとして、子どもたちとともにストーリーを考え、必要な物を作りながら進めていった年長組の保育参観発表会。運動会から継続して挑戦している得意技や大好きなダンスを披露したり、頑張っている友達を優しく応援したりする中で、みんなで1つの劇をつくり上げたという満足感を味わうことができました。さらに自分の役割を再確認し、クラスの一員であることや仲間意識を強く感じる事ができました。当日は2クラスともに全員参加の中、たくさんの保護者の前で少し恥ずかしさを感じながらも、真剣に笑顔で演じていました。一人一人の思いが詰まった心温まる発表の場となりました。

○冬のお楽しみ会 12月18日（全園児）

静まり返ったホールに「リンリンリン」と鈴の音が響いた瞬間、本物のサンタクロースが登場すると、子どもたちは驚きと嬉しさで目は輝き、しばらくは固まった状態でした。さらに一人一人にプレゼントをもって来てくれたことを知り、テンションは絶頂に・・・「どこから来たの?」「何歳?」「どうして子どもたちにプレゼントをくれるの?」など、いろいろな質問にもていねいに英語で答えてくれました。その後職員によるアンパンマンの人形劇も行われ、楽しいひと時を過ごしました。

○もちつき 12月19日（全園児）

冬晴れの透き通るような青空のもと、せいろで蒸かされた熱々のもち米を味見すると「お米みたい」「もっと食べたい」など初めての触感に興味津々でした。いよいよ餅つきの始まりです。「よいしょ、よいしょ」と子どもたちの元気な声に合わせて、園長先生や運転手さんが重い杵を振り上げます。年長児も子ども用の杵で頑張ります。だんだんお餅になっていく様子を見ながら「早く食べたいね」と待ちきれない様子でした。つきたてのお餅は、給食室できなこ・あんこ・のりの3種類のお餅となり、すぐに売り切れとなるくらい大盛況でした。伝統的な行事に触れた貴重な経験となりました。

○大根販売 12月21日（年長児）

延期されていた大根販売が行われました。机を並べて看板を付けたり、お金を入れる容器、新聞紙を置いたり・・・「お客さん来てくれるかな?」「大根好きかな?」などドキドキしながら開店を待ちました。「いらっしゃいませ」「1本100円です」など元気な声に引き寄せられて、保護者の方は笑顔で購入していました。作ったお金で売り買いをするお店屋さんごっことは違い、本物のお金を使って売るということで、緊張感も漂った実りのある活動となりました。

